

秋田県大潟村

～自然エネルギー100%の村づくりへ挑戦～

○ 自己紹介

大 潟 村

村長 高橋 浩人
(たかはしひろと)

各第三セクター代表
(株) オーリス
(株) 大潟共生自然エネルギー
(株) ルーラル大潟

年齢 66歳
出身地 秋田県能代市 (旧二ツ井町)
当選 5回
任期 令和10年9月



○大潟村の特徴

- ・ 日本第2位の広さであった八郎潟を国営事業により「干拓」し誕生
- ・ 集落「総合中心地」が2 km×1 kmの1カ所に集中
- ・ 人口約2,965人、人口の8割が専業稲作農家
- ・ 耕作面積 約9,000ha 平均約18ha/1戸
- ・ 「コメ」の年間生産量約61,000トン
(全国市町村中トップ6位(県内3位))
- ・ 「もみ殻」の年間発生量 約12,000トン



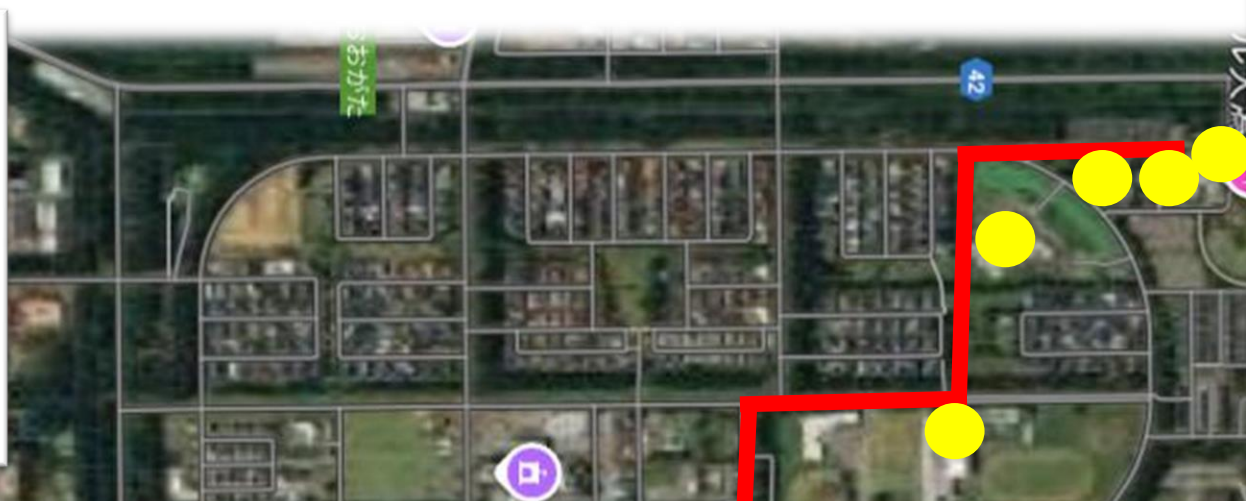
○脱炭素先行地域の提案概要

- ・ **もみ殻バイオマスボイラーによる地域熱供給**
- ・ 公共施設等への自家消費型太陽光発電（オンサイトPPA）
- ・ 遊休地へのメガソーラー発電所設置（オフサイトPPA）
- ・ 公共施設の省エネ化、公用車のEV化



○もみ殻バイオマス地域熱供給

- 発生量の約半分が未利用資源となっている**もみ殻**を燃料とするボイラーを設置し、熱導管を介して公共施設へ熱供給を行う。



○もみ殻バイオマス地域熱供給

- ・ 低温燃焼後のもみ殻を燠炭状で排出し、農地への還元を行うことで、農業における資源の循環を行う。



・ 育苗時の床土への混合



労力の軽減



・ 水田へ投入



土地改良材
炭素固定

